News Release

aiforce solut!ons

報道関係各位

2019 年 7 月 26 日
住友商事株式会社
株式会社 aiforce solutions

AI 導入促進に関する資本業務提携について

住友商事株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役 社長執行役員 CEO：兵頭誠之、以下「住友商事」）と、AI データ解析サービス「AMATERAS RAY」の開発・販売を手掛ける株式会社 aiforce solutions（本社：東京都千代田区、CEO：西川智章、以下「aiforce 社」）は、多様な事業領域への AI 導入促進を目的として資本業務提携を実施しました。

近年、多くの企業が AI、IoT、ロボティクスなどの先端技術を活用した既存事業の高度化・新規事業開発（デジタルトランスフォーメーション、以下「DX」）に注力し、オペレーションデータの利活用や在庫最適化、市況価格の予測精度向上などに取り組んでいます。AI の活用には、データサイエンティストが企業の保有データを分析・解析して整理する前処理が必要ですが、現在、データサイエンティストは不足しており、AI の導入に長い期間と高額な導入・運用費用を要するのが一般的です。

aiforce 社は、データサイエンティスト業務の代替が可能な AI データ分析・解析サービス「AMATERAS RAY」を提供しています。「AMATERAS RAY」は、専門知識を必要とせず数クリックで操作が完了し、通常データサイエンティストが数カ月要する業務を最短数日で実施可能です。また、AI 導入コンサルティング、プロトタイプ開発支援、RPA と「AMATERAS RAY」との連携支援などを低価格で提供することで、幅広い企業への AI 導入をサポートします。さらに、「AMATERAS RAY」を活用してデータ分析・解析業務を社内リソースで内製化するため、e-Learning プログラムや、企業向け研修プログラム、大学などと提携した AI 教育サービスも提供します。

住友商事と aiforce 社は、資本業務提携を通じ、住友商事グループの製造、流通、小売、サービスなどさまざまな事業領域への AI 導入を促進し、オペレーションデータの利活用による業務最適化やさらなる付加価値の提供、競争優位性の創出を目指します。また、住友商事グループのネットワークを活用し、aiforce 社事業の国内外での展開にも取り組みます。

住友商事は、「中期経営計画 2020」において次世代ビジネス創出の手段として DX 推進を全社成長戦略として掲げています。aiforce 社との資本業務提携を通じて、住友商事グループへの AI 導入加速に加え、教育プログラムや人材交流を通じた AI 人材の育成に繋げます。

aiforce 社は、データが企業価値を左右する大競争時代の到来を見据えて、全ての人が読み、 書き、そろばんレベルで AI を活用できる世の中の実現を掲げています。住友商事との資本提携を通じて、住友商事グループが保有する様々な業種・業態のデータを活用した DX 推進を通じて得られた知見を基に、分析と教育のプラットフォームの汎用化と高度化を目指します。

＜参考資料＞

◆「AMATERAS　RAY」について(https://www.aiforce.solutions/amateras)

AMATERAS の特徴は、データ分析の専門家ではなく、実務者である営業部やマーケティング部担当でも数クリックで、最適な予測結果を自ら、簡単に、何度も検証することが可能です。そのため、データサイエンティストなど高度なデータ分析専門家を採用する必要がありません。

AMATERAS RAY

◆株式会社 aiforce solutions について（https://www.aiforce.solutions/)

現在、日本国内においては、AI 市場は加熱気味ですが、それを担う専門家人材が不足しており、需要と供給がマッチしていません。また、AI 導入には高額な導入費用と期間がかかるため、メディアで報道されているほどビジネス市場における AI 導入は進んでいないのが実態です。この問題を解決するために、AI の内製化を強力に推進するインフラ(AMATERAS RAY と AI ビジネスパーソン向け e-Learning)を提供しています。

・会社所在地　：　東京都千代田区大手町 1-5-1　大手町ファーストスクエアウエストタワー2F
・代　表　者　：　代表取締役社長　西川　智章
・事 業 内 容　：
➢AI コンサルティング
・AI 導入コンサルティング、AI プロジェクトの PMO、内製化の支援
・AI ベンダーや投資先の技術評価と選定の支援
➢AMATERAS RAY：機械学習の自動化ソフトウェア
・一般ユーザーが数クリックで需要予測や異常検知を実施できるサービスの提供
・AI プロジェクトの期間を最短１日まで削減し、内製化を実現
➢ビジネス向け AI e-Learning
・AI ビジネスパーソンのリテラシー向上を目的とした体系的な教育プログラム
・AI コンサルティングやプロジェクト推進の教育に注力
（AI テーマ選定や AI ベンダーの選別や目利き力を強化）
・AI エンジニアのスキルとビジネスプロデュ―サーとしての能力を備える「AI 女子」の育成
・東北大学、早稲田大学等における次世代の AI リテラシー向上の教育プログラムの提供

＜参考資料＞

◆住友商事のマテリアリティ（重要課題）

住友商事グループは『社会とともに持続的に成長するための6つのマテリアリティ（重要課題）』を、事業戦略の策定や個々のビジネスの意思決定プロセスにおける重要な要素と位置付け、事業活動を通じて課題を解決することで持続的な成長を図っていきます。本事業は、特に「地域と産業の発展への貢献」、「快適で心躍る暮らしの基盤づくり」、「多様なアクセスの構築」、「人材育成とダイバーシティの推進」に資する事業です。

6つのマテリアリティ	
	地球環境との共生 循環型社会の形成と気候変動の緩和を目指し、資源の有効利用や再生可能エネルギーの安定供給に向けた仕組みづくりに取り組むことで、地球環境と共生した成長を実現します。
	地域と産業の発展への貢献 さまざまな国や地域の人々のニーズに応えてモノやサービスを安定的に調達・供給し、産業のプラットフォームづくりに貢献することで、地域社会とともに成長・発展する好循環を生み出します。
	快適で心躍る暮らしの基盤づくり 毎日の生活に必要なモノやサービスを提供してより便利で快適な暮らしを実現するとともに、質の高い暮らしへのニーズにも応えていくことで、全ての人々の心と体の健康を支えます。
	多様なアクセスの構築 人・モノが安全かつ効率的に行き交うモビリティを高め、情報・資金をつなぐネットワークを拡大することで、多様なアクセスを構築し、新たな価値が生まれる可能性を広げます。
	人材育成とダイバーシティの推進 多様なバックグラウンドを有する人材が、各々のフィールドで能力を最大限に発揮して、新たな価値や革新を生み出せるように、最重要の経営リソースである人材の育成・活躍推進に取り組みます。
	ガバナンスの充実 透明性を確保しつつ、持続的な成長に向けた戦略の立案・実行およびその適切な監督を充実させることで、経営の効率性を向上し、健全性を維持します。